

会 議 録	
会 議 名	令和6年度 第1回丸亀市行政改革推進委員会
開催日時	令和6年11月26日（火）10:00～11:45
開催場所	丸亀市役所4階 特別会議室
出席者	出席委員 秋山千枝、佐藤常光、砂本健、松下春奈、眞鍋宣訓、水野隆志、山中雅大、吉澤康代、米澤俊美 欠席委員 小野賢治、内海珠美、垣渕直子、早馬倫代 事務局 市長公室長 栗山佳子 （市長公室政策課） 課長 眞鍋裕章、主査 横井俊介 説明のために出席した者 職員課長 徳田寛、デジタル活用推進課長 村山智彦、財務課長 高倉鋭悟
議 題	1. 丸亀市中期財政フレームについて（報告） 2. 丸亀市第五次行政改革プラン進行管理について 3. 行政計画のスリム化について 4. その他
傍聴者	なし
発言者	議事の概要及び発言の要旨
眞鍋政策課長	ご案内の時刻がまいりましたので、ただ今から丸亀市行政改革推進委員会を開会します。 本日は大変お忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。 会議に先立ちまして、新しい委員の方をご紹介します。 本年4月に安井委員が転勤により委員を辞され、今回より、水野隆志様が、新たに委員として加わりましたのでご紹介いたします。
水野委員	（水野委員挨拶）
眞鍋政策課長	ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。 それでは、本日の議事に入る前に資料の確認をお願いします。 ＜資料確認＞
眞鍋政策課長	それでは、丸亀市附属機関設置条例第7条により、ここからの議事進行につきまして、会長にお願いいたしたいと思います。

吉澤会長	議事に入る前に、私からのお願いが2点あります。 1点目は、事務局からの事前説明についてです。委員会の当日に説明を受けて意見するだけというのは非常にもったいないと感じています。委員会の開催前に事務局からの事前説明を受けて疑問点等を伝え、委員会当日は事務局からフィードバックしていただくようにしてはどうでしょうか。委員の皆様もお忙しいとは思いますが、ご協力をお願いします。 もう1点は、行政改革推進委員会は丸亀市が破綻せず運営していくための行政改革をチェックする役割があるので、皆さんの多様な知見からご意見・ご提案いただきたいと思います。 それでは、私の方で議事を進めさせていただきたいと思います。 本日の議事は、次第にありますとおり、(1)から(4)までとなっております。 まず、議事の(1)「丸亀市中期財政フレームについて」、事務局より説明をお願いします。
高倉財務課長	《資料1により説明》
吉澤会長	ただ今の説明に関しまして、質問等がありましたらお願いします。
山中委員	基金残高推移（長期資産フレーム）のうち、ボートレース事業からの繰入額と財政調整基金への積立額が、令和6年度はそれぞれ95億円と3億4千万円なのに対し、令和7年度は30億円と1億円となっているのはどういった事情からですか。
高倉財務課長	ボートレースからは毎年度30億円の繰入を見込んでいるのですが、令和5年度のボートレース事業収益が好調だったため、令和6年度は見込額に上乗せして95億円を繰り入れております。財政調整基金についても、余剰額の半分の積立として毎年度1億円を見込んでいるのですが、令和6年度は6億8千万ほどの余剰額があったため、半額以上の3億4千万円を積み立てしております。
砂本委員	令和7年度の臨時的経費には、生涯学習センターの解体工事費は含まれているのですか。
高倉財務課長	臨時的経費ではなく、投資的事業費に含まれています。
砂本委員	経常経費一般財源所要額のうち、物件費、維持補修費、補助費等が令和7年度から令和8年度にかけて、73億8千万円から78億1400万円に増額していますが、この中に新市民会館の収入は含まれていますか。
高倉財務課長	新市民会館は指定管理者制度を導入することとしており、新市民会館の収入は指定管理者の収入となるため市の収入にはなりません。例えば、市民会館を運営

	するのに毎年1億円がかかり、収入が3,000万円だとすると、差額となる7,000万円の指定管理料を物件費として支出するような考え方の表記となっています。
吉澤会長	ご存じない方、お忘れの方もいると思いますが、過去の経緯として、ボートレースからの繰入額が1億円から30億円に引き上げられています。30億円に増額してもやはり基金がマイナスになっていくという現状に危機感を覚えています。
米澤委員	実質公債費比率が毎年度1%程度ずつ上昇しているのですが、令和11年度以降も上がり続けていく見通しでしょうか。
高倉財務課長	現状のまま起債を続けていくと上がり続けると考えています。まずは実質公債費比率が18%に達しないよう事業の平準化、起債抑制等に努めていきます。
米澤委員	丸亀市の実質公債費比率は令和4年度あたりまでは他市町と比較して良好だったと記憶しています。年々上昇しているため注意が必要だと考えます。
佐藤委員	ボートレースからの繰入を主に考えては、ボートレース事業がうまくいかなかった場合に破綻しかねないのではないのでしょうか。ボートレースを重く見すぎていることに疑問を感じます。
高倉財務課長	ボートレースに依存する財政状況とならないよう注意いたします。ただし、現時点ではボートレース事業が好調のため、現状は30億円の繰入を見込んでおります。今後もボートレース事業局とも協議を重ね、数字の改訂に取り組んでいきます。
松下委員	基金残高をどれくらい維持したいという目標値のようなものはあるのでしょうか。
高倉財務課長	全国的にも法的にも基金残高に基準というものはございません。中期財政フレームを見ながら適切な状態を維持するよう努めています。
松下委員	基金は持ちすぎでも、足りなくてもよくないということでしょうか。
高倉財務課長	持ちすぎは市民に適切に還元できていない状態であり、足りないのは十分な行政サービスが行えない状態だと捉えています。
秋山委員	基金がマイナスになるとどのような状態になるのでしょうか。
高倉財務課長	絶対になってはいけない事ですが、基金がマイナスになると現状の行政運営が

	できなくなりますので、そのようにならないよう適切な財政状況の維持に努めます。
眞鍋副会長	ボートレースからの過去5年間の繰入額はどのくらいでしょうか。
高倉財務課長	令和2年度から令和6年度の5年間で395億円の繰入がありました。
眞鍋副会長	その数字を参照すると毎年度見込額を上回る額が繰り入れられており、30億円の繰入額の根拠が乏しいように感じます。
高倉財務課長	ボートレース事業の好調が続いているため、多くの額の繰入がありますが、ボートレース事務局とも協議のうえ、見込額は30億円としています。
吉澤会長	投資的事業として、建物以外で基金から支出するものはどのようなものがありますか。
高倉財務課長	ボートレース事業の収益を積み立てて次世代育成基金を設置し、市立小中学校の給食費無償化や人づくり石垣プロジェクトはこの基金から支出しています。
眞鍋副会長	丸亀市の財政状況は良好ですが、それが有効に活用されているかを見るべきだと思っています。絶対に必要なお金をボートレース事業に頼ってはいけませんが、現状ボートレース事業は好調ですので、繰入金を活用することで千葉県流山市のようにどんどん人口を増やすことができるのではないかと考えています。
高倉財務課長	ボートレース事業収益の還元について、どういった事業に取り組んでいくかを積極的に発信してアピールしていきます。
眞鍋副会長	資料を作る際に、「財政状況は健全である」と記載すればいいのではないのでしょうか。この資料からわかることは一言で言うとうですよ。その中でも気をつけるのはこの部分というような資料の作り方をしてくれると委員も非常にわかりやすいと思います。
吉澤会長	ほかにご質問がなければ、続きまして議事の(2)「第5次丸亀市行政改革プラン進行管理について」、事務局より説明をお願いします。
横井	《資料2～4により説明》
吉澤会長	ただ今の説明に関しまして、質問等がありましたらお願いします。
山中委員	職員提案制度の提案方法についてですが、QRコードやリンク集から提案できると

	なっていますが、基本的にはどこの場所から提案することを想定していますか。
横井	業務の合間にでも簡単にできるよう、各職員のパソコンからの提案を想定しています。
山中委員	こういった提案は時間と場所が大事で、いわゆる心理的安全性が確保されているかを重視すべきだと考えます。例えば、喫煙所等で同僚と話しているときに思いついてすぐに提案できるような形にできればより良いものになるかと思います。 また、丸亀市公式 LINE でニッカリ青江展の PR 動画を公開しているとのことですが、丸亀市公式 LINE は市民向けの情報発信と市外住民にも向けたイベント告知等が混在しているように感じます。イベント告知等により交流人口や関係人口が増えるということは理解していますが、どの程度市民に必要な情報が届くようになっているかを教えてください。
横井	丸亀市公式 LINE には市民向けのコンテンツと市外住民も対象としたコンテンツがあり、登録の際にも丸亀市民か市外住民かを選択いただいたうえで、欲しい情報にチェックを入れて必要情報のみ受け取れるようになっています。防災情報等の市民向けの情報を必要な方にお届けする一方で、観光情報等は市外住民にも積極的に情報発信をしております。丸亀市の魅力を外部に発信することで、交流人口の増加、関係人口の創出を通じて、将来的には移住者の増加に繋がるように取り組んでまいります。
山中委員	きっかけづくりとして素晴らしい取組だと思います。丸亀市がどういう場所か、どのような特色があるかを伝え、住みやすそうだと思っていただき、移住に繋げていただきたいと思います。
松下委員	SNSの中でも LINE の登録はハードルが高いと考えています。刀剣乱舞の俳優さんの出演する動画を活用して登録者を増やそうというアイデアはどこから出てきたものですか。
真鍋政策課長	先進自治体の事例を参考にしながら、本市の職員が発案したものです。
松下委員	LINE は登録しても登録以前に発信された情報が見られないところもつたいないと感じています。X (旧 Twitter) や YouTube は過去の情報発信を見ることができ、若い方の利用も多い媒体です。過去の情報を見ることが、同時期に同じようなイベントがあるかもしれないと予測も役立てやすいので上手に住み分けして活用していただきたいと思います。また、丸亀市では Instagram は活用していないのでしょうか。
横井	丸亀市では「マルカメラ」という公式 Instagram を活用しており、市の PR や

	情報発信に役立てています。
松下委員	丸亀市公式 LINE は登録の際に欲しい情報を選択できるという話がありましたが、具体的にはどのようなになっているのでしょうか。
横井	全ての情報を受け取ることも可能ですが、欲しい情報カテゴリにチェックを入れることで、欲しい情報だけ受け取ることができます。イベントと観光の情報だけ受け取りたい、イベント情報はいらないけれど防災・防犯に関する情報は欲しいなど、必要な情報だけを選別して受け取ることが可能です。また、欲しい情報については、随時組み換えが可能です。
吉澤会長	令和4年度から始まった第五次丸亀市行政改革プランは次年度が最終年度となりますが、次期計画に向けて数値目標が妥当であるかを検証する必要があると考えています。また、目標値に縛られすぎないで、どの程度効率化が実現できているか等、計画最終年度に向けて総括が必要と考えていますのでご協力をいただきたいとおもいます。
松下委員	デジタル化について、丸亀市は放課後留守家庭児童会の利用申請の際の就労証明書に署名または記名押印が必要となっていますが、高松市は押印廃止になっています。何か理由があるのでしょうか。
真鍋政策課長	丸亀市でも昨年度に押印廃止の取り組みを進めており、どうしても押印が必要なものが残っているのが現状と考えています。押印が必要な理由につきまして、今この場での回答は難しいので後ほど回答させていただきます。
眞鍋副会長	行政改革プランを実行するための予算は確保してあるのでしょうか。
高倉財務課長	行政改革プランに掲げている項目に対しての予算はありますが、行政改革プランを実行するための予算というものは別立てではとっておりません。
眞鍋副会長	もともと予算があるものについては実行できるけれども、新たに何かをしようとして費用がかかるものが出てきたときは、新たに予算を確保する必要があるのですね。
高倉財務課長	その通りです。電子決裁システム導入の取組などは、当初は予算がありませんでしたが、行政改革プランに基づき計画的に予算化したものです。
眞鍋副会長	行政は予算の縛りがあるため難しいと思いますが、民間ではプロジェクトを立ち上げる際、予算を別に確保することがあります。プロジェクトにおいて計画外の出費がある場合にそこからお金を持ってくることができます。

高倉財務課長	行政においては市民の代表である議会における予算の承認が必要ですので、難しいところです。予備費は確保しているのですが、突発的にどうしてもやらなければならない事のための予算ですので、予備費からの支出は難しいです。
眞鍋副会長	本当に行政改革を進めたいという意思があり、行政改革プラン実行のための予算が別にあれば、翌年の予算化を待たずに1年早く実施できるケースがあるかもしれないと思いました。
吉澤会長	過去において、予算がなくて計画が滞ったという事例はありますか。
高倉財務課長	関係団体との調整ができなかったため、計画が滞ったという事例はありましたが、予算がつかなくて滞った事例はないと思います。
吉澤会長	ほかにご質問がなければ、議事(3)「行政計画のスリム化」について、事務局より説明をお願いします。
眞鍋政策課長	《資料5により説明》
吉澤会長	ほかにご質問がなければ、議事(4)「その他」について、事務局から何かありますか。
横井	《事務局より、次回会議について説明》
吉澤会長	それでは、議事については以上とさせていただきます。 その他、委員の皆さまから何かございますか。 なければ、以上で、本日の審議を終了いたします。皆さま、大変お疲れさまでした。 (会議終了)